

あすぴあ登録団体の紹介

こんな活動をしています

Vol.
12

登録団体の中で取材を希望する団体は
あすぴあまでお知らせください。
広報部会の部員が伺います！

憲法カフェ@なかまちテラス

平成27年3月のなかまちテラスのオープンイベントをきっかけにできた会です。
代表の坂口洋子さんに聞きました。



《かわいらしい
ロゴマーク》

「『憲法カフェ@なかまちテラス』の名前は、すなおにありのままにしました。公民館での憲法カフェですので、マーク（ロゴ）に親しみをもってもらい、どなたでもふらっと立ち寄って下さったらと願っています。

憲法に最大の関心が寄せられている現在、議論が白熱することもあります。相反する意見を持っている方どうしが真剣に何度か話し合っていく内に、平和を願う気持は同じと気づいたりして、交流を重ねてゆくことの大切さを感じています。アンケートからも“いろんな意見を聞き交流できてよかった”と書かれていることが多く、嬉しく思います。私をはじめスタッフは憲法には素人ですが、共に考え意見交換ができるこのカフェの意義を感じながら、張り切ってやっています」とのこと。

取材に伺った日のテーマは、『戦後70年 憲法のこと話しませんか』。参加者は17人。高齢の方が多く、男女半々でした。参加費は100円。壁際にコーヒーなど飲み物が並びます。リラックスした雰囲気、ゆったりと話そうという趣旨でしょう。

3つのグループに分かれて、1グループ5、6人のメンバーで意見交換開始。憲法を守りたい人、9条には批判的な人、どちらとも言えないという人など、多様な意見の方がいて、

熱心に意見を交わしていました。一方的にさえぎる人もなく、テーマや歴史にあまり詳しくない人でも気軽に参加できるように、との主催者の気配りを感じました。(N)



DATA

お茶代●100円

活動場所●なかまちテラス

今後の活動予定●

10月31日(土) 午後1時30分から4時 [ホール]

11月28日(土) // [ホール]

12月26日(土) 午後(検討中) [学習室1]

コーダー道場こだいら

6月から始まったばかりの「コーダー道場こだいら」はどんな活動をしているのか、活動日に見学に行き、代表のとがそのさんにお話を聞きました。

コーダー道場はアイルランドで始まった「子どものためのプログラミングクラブ」で今、国際的にどんどん広まっているそうです。

とがそのさんはシステム開発の仕事をしていましたが、退職後に次世代育成に興味を持つようになり、その頃「CoderDojo」と出会いました。「CoderDojo」がパソコンを介して子どもたちの集まる場所の一つになれば、と思ったのがきっかけで、この活動を始めたそうです。

7月19日の活動日には、母親と小学二年生、その友達が夢中になってゲームをつくっていました。初めてパソコンのマウスを使いながらも、指導者の手助けで次々と入力が進み、楽しんでいるのには驚きました。

コーダーとはコードを書く人＝プログラミングすることで、パソコン上で絵を動かして動く絵本をついたり、ゲームをついたり、だれでも楽しめます。ロボットを動かすことも可能になります。子どもたちが自分でやりたいことをやるのが基本。そこから作品をインターネットで友達のものと一緒にさせて交流もでき、自然と作品を説明する表現力、しゃべる習慣もつき、コミュニケーション能力も高まるそうです。付き添いの大人たちにも交流が生まれています。参加者とボランティアの手伝いも募集中です。(S)



《熱心に操作する
子どもたち》

Kodaira
CoderDojo

QRコードは読み取れないこともあります。その場合は下記連絡先をご覧ください。

CoderDojo Kodaira
コーダー道場こだいら
子どものプログラミング同好会
対象：小学生～高校生
!参加者募集中!
(次回開催は9月9日)



DATA

活動日●隔週水曜日

午後6時30分から8時

活動場所●小平市民活動支援センターあすぴあ会議室ほか

参加費●無料

連絡先●corderdojokodaira@gmail.com (とがその)

ホームページ●http://coderdojo-kodaira.github.io/

すまいるサロン

地域の人たちが集まる居場所があちこちにできているようです。
まちにいろんなタイプの居場所ができると、選べる先が増えるのでいいと思いませんか。

「きっかけは2014年の介護保険の改正で、要支援の高齢者たちが介護保険を受けられなくなるというニュースでした。そうすると、お年寄りたちは、デイサービスにも行けずどこが居場所になるんだろう。自分たちだって、いずれ同じ立場になるのだから、すまいるサロンをつくりたいと思いました。」

代表者の伊藤さんは、生まれも育ちも墨田区の下町。誰かが困っていると、あっちからもこっちからも助けが来るような環境の中で、自然にボランティアすることが身についています。



《フラダンスも「すまいる」が
大串

小物入れにもなる
伸縮自在のくつ下

NPOの事業所でケアマネージャー（介護支援専門員）をしながら、仲間に声をかけました。

「参加してくれたのは、フラダンスが趣味の看護師さん、編み物の達人、アロマセラピーのプロ、100歳のお母さんを介護する栄養士さん。みんな、仕事もボランティアもまず自分のために頑張る、というのがとても新鮮でした。」

活動は月一度、あすぴあの会議室が会場です。集まった人たちが、健康相談や、フラダンス、アロママッサージ、ハーブティーでリラックスしたり、時間はゆったり過ぎていきます。

「とにかく肩ひじ張らずにみんなでスマイルになってもらえればと思ってます。これからの活動はNPOフェスタでの物品販売、11月には沖縄の楽器、三線の演奏と踊りを計画しています。」

日常とは少し遠いところにあるような『社会貢献』という言葉、とても身近に感じられるような「すまいるサロン」でした。(K)

DATA

連絡先●080-5474-7561 (伊藤) 午後6時以降

メール●chikako.kazu25@gmail.com